

「おてんとうさまは見ているよ」

校長 山浦 麻紀



ヒマワリ

花言葉・・「あなたを見つめている」

梅雨の合間にみる太陽は、喜びの光に満ちあふれ、一層キラキラ眩しく感じます。
太陽（おてんとうさま）の力は偉大であり、地球上の生物はその力によって生命を維持できることを有難く感じます。

学校総合体育大会の駒場体育館会場にて、、偶然、私の前を歩いていた本校の3年生の男子が突然かんだかと思うと、目の前に落ちていたおにぎりを包んでいたサランラップを拾い上げたのです。「あらっ、自分のゴミなの？」と尋ねると、「いいえ、目の前に落ちていたので・・・」と照れくさそうに笑い、少し離れたゴミ箱に捨ててくれたのです。

体育祭の時、地域にお住まいの方から聞きました。「毎朝、通勤で車を運転しています。横断歩道では歩行者の方を通してあげようと車をとめるのですが、岸中の生徒さんは、みなさんどの子も会釈をしてくれるんです。なかには、ありがとうございますと口の動きでわかるようにお礼を言ってくれる生徒さんもいるんですよ。本当に、かわいらしくこの地域を誇らしく思います。」

よく目にする光景として、大人であっても平気で交通ルールを無視して自転車を運転する姿があります。また、駅に近い場所では先を急ぐ人達が信号無視をして道路を渡る場面が度々あります。しかし、警察官の立つ時には、そのような行為は見受けられません。

昔の人は、誰かが見ているから、誰も見ていないからとって態度を変えたり、悪いことをしたりすることの戒めとして「誰が見ていなくてもおてんとうさまは見ているよ」と子供に仕上げをしたものです。

いつの頃からか「自分さえ良ければ」、「みんながやっているから」「見つからなければ」などの勝手な解釈が世の中に大手を振ってまかり通るようになってしまったのでしょうか。ネットでの炎上と言われるような、相手を傷つけるメールや書き込みなども同様であり、非常に残念なことです。いつの時代でもやっぱり「だめなものだめ」と自制する心を持って生活して欲しいと思います。

そして、自慢の岸中学校の子どもたちには、「よいことをしていることも、おてんとうさまは見ている」ので、今までどおり陰日向なく生活して欲しいとも思います。

6月の「いじめ撲滅強化月間」の取り組みを生徒会が中心になり進めています。そして、今、ICTを活用しながら、全ての生徒のみなさんが先生たちと一緒に本気でいじめ撲滅について考えてくれています。是非、自分の行動が「本当に人として、人を大切にしているのか」と振り返ること、「いじめは絶対に許さない」と誓った自分にウソつかないことを忘れないようお願いします。

岸中学校の1学期、1年生も2年生も3年生も、実によく元気にあいさつを交わして頑張ってくれました。また、学校総合体育大会では全ての部活動において華やかであり納得のいく大きな成果をあげてくれました。1学期の締めくくりとなる大きな行事、6月15日の体育祭では、体育委員を中心に、見事「感動の入場行進」を創り上げました。そして数々の素晴らしい「もっと岸中 前へ！」の姿を魅せてくれました。誇りあれ、岸中生！ この調子で「もっと岸中 前へ！」

保護者の皆様、地域の方々にも多くの場面で応援を頂き心より感謝致します。